

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月4日
【四半期会計期間】	第23期第3四半期（自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日）
【会社名】	ブックオフコーポレーション株式会社
【英訳名】	BOOKOFF CORPORATION LIMITED
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 松下 展千
【本店の所在の場所】	神奈川県相模原市南区古淵二丁目14番20号
【電話番号】	（042）769 - 1511
【事務連絡者氏名】	執行役員 野津 直樹
【最寄りの連絡場所】	神奈川県相模原市南区古淵二丁目14番20号
【電話番号】	（042）769 - 1511
【事務連絡者氏名】	執行役員 野津 直樹
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第１【企業の概況】

１【主要な経営指標等の推移】

回次	第22期 第３四半期連結 累計期間	第23期 第３四半期連結 累計期間	第22期
会計期間	自平成24年４月１日 至平成24年12月31日	自平成25年４月１日 至平成25年12月31日	自平成24年４月１日 至平成25年３月31日
売上高 (千円)	56,637,149	58,715,461	76,670,937
経常利益 (千円)	1,306,591	1,215,561	2,366,143
四半期（当期）純利益 (千円)	605,338	349,286	1,058,088
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	568,714	435,779	1,112,824
純資産額 (千円)	14,654,454	14,586,821	15,249,721
総資産額 (千円)	39,640,171	41,571,128	39,455,164
１株当たり四半期（当期） 純利益金額 (円)	32.83	18.89	57.30
潜在株式調整後１株当たり 四半期（当期）純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	37.0	35.1	38.7

回次	第22期 第３四半期連結 会計期間	第23期 第３四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年10月１日 至平成24年12月31日	自平成25年10月１日 至平成25年12月31日
１株当たり四半期純利益金額 (円)	6.52	25.63

（注）１．当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。

２．売上高には、消費税等は含まれておりません。

３．第22期第３四半期連結累計期間及び第22期の潜在株式調整後１株当たり四半期（当期）純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

４．第23期第３四半期連結累計期間の潜在株式調整後１株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

５．１株当たり四半期(当期)純利益金額の算定に用いられた普通株式の期中平均株式数は、ブックオフコーポレーション従業員持株会専用信託が所有する当社株式の数を控除して算定しております。

2【事業の内容】

当社グループ（当社及び当社の関係会社（子会社13社及び関連会社1社（平成25年12月31日現在））により構成）は、「事業活動を通じての社会への貢献」「全従業員の物心両面の幸福の追求」を经营理念とし、中古書籍等の小売店舗「BOOKOFF」を中心に、「リユース」を切り口とした小売店舗の運営及びフランチャイズ事業を行っております。

当第3四半期連結累計期間において、各部門に係る事業内容の変更と主要な関係会社における異動は概ね以下のとおりです。

（ブックオフ事業）

主な事業内容の異動、及び主要な関係会社の異動はありません。

（リユース事業）

主な事業内容の異動、及び主要な関係会社の異動はありません。

（パッケージメディア事業）

主な事業内容の異動、及び主要な関係会社の異動はありません。

（その他）

主な事業内容の異動はありません。

なお、当社は店舗型のビジネスに限定しない新たなリユース業を目的として、平成25年4月1日付で(株)ハグオールを新規設立、同社は当社の連結子会社となりました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中における将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当社グループは「ご家庭で不要となったものを、新しい持ち主のために役立てる」という「リユース業」を中核事業として、書籍・CD・DVD・ゲーム・アパレル・スポーツ用品・ベビー用品・雑貨等様々なジャンルのリユースに取り組んでまいりました。

今後も引き続き『ものを捨てたくない人が、捨てない生活をするためのインフラとしての役割を果たすブックオフ』＝『捨てない人のブックオフ』を事業ミッションとして、様々なもののリユースを通じて循環型社会の実現に取り組んでまいります。

このような経営方針の下、主力の「BOOKOFF」に加え、総合リユースへの事業拡大を目指し、大型複合店「BOOKOFF SUPER BAZAAR」と中型複合店「BOOKOFF PLUS」を当社グループの中核パッケージとして出店とリニューアルの促進を図っており、当第3四半期連結累計期間において、「BOOKOFF」単独店を4店舗、「BOOKOFF SUPER BAZAAR」を3館出店した他、既存の「BOOKOFF」の「BOOKOFF PLUS」へのリニューアルを1店舗行いました。

当連結会計年度は、引き続き主力の「BOOKOFF」において、来店機会の創出による販売客数の向上を重点課題として進めており、5月にチェーン統一の買取・販売キャンペーンを、また12月にチェーン統一の買取キャンペーンを実施し、TVCMやチラシ等販売促進の強化を図りました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高58,715百万円（前年同四半期比3.7%増）、営業利益746百万円（前年同四半期比25.2%減）、経常利益1,215百万円（前年同四半期比7.0%減）、四半期純利益349百万円（前年同四半期比42.3%減）となりました。

各セグメント別の売上状況は以下のとおりです。

（ブックオフ事業）

当セグメント第3四半期連結累計期間業績は、売上高39,595百万円（前年同四半期比2.5%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間の出店は、グループ直営店7店舗、FC加盟店4店舗となりました（閉店はグループ直営店7店舗、FC加盟店19店舗）。

既存店売上高は前年同四半期に比べ減少しましたが、新規出店やオンライン事業の売上増加が寄与し、増収となりました。

（リユース事業）

当セグメント第3四半期連結累計期間業績は、売上高10,751百万円（前年同四半期比16.7%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間の出店は、グループ直営店4店舗となりました（閉店はグループ直営店29店舗（同一建物内の複数店舗を1つの屋号に統合したことによる閉店27店舗含む））。

既存店売上高が前年同四半期に比べ増加したほか、新規出店による売上増加が寄与し、増収となりました。

（パッケージメディア事業）

当セグメント第3四半期連結累計期間業績は、売上高8,097百万円（前年同四半期比4.6%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間の出店はありませんでした（閉店はグループ直営店2店舗）。

（その他）

当セグメント第3四半期連結累計期間業績は、売上高271百万円（前年同四半期比11.5%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間の出店はありませんでした（閉店はグループ直営店1店舗）。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

特記すべき事項はありません。

(4) 財政状態の分析

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は21,460百万円(前連結会計年度末は19,351百万円)となり、2,108百万円増加しました。業容の拡大に伴い商品が772百万円増加したことに加えて、現金及び預金が1,035百万円増加したことが主な要因です。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は20,110百万円(前連結会計年度末は20,103百万円)となり、7百万円増加しました。出店投資等により有形固定資産が311百万円増加した一方で、のれんの償却等により無形固定資産が163百万円減少し、差入保証金の減少等により投資その他の資産が141百万円減少したことが主な要因です。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債残高は26,984百万円(前連結会計年度末は24,205百万円)となり、2,778百万円増加しました。法人税等の納付により未払法人税等が504百万円減少した一方で、業容の拡大や自己株式取得などの資金需要に対し銀行借入で対応したことで、借入金が3,503百万円増加したことが主な要因です。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産残高は14,586百万円(前連結会計年度末は15,249百万円)となり、662百万円減少しました。四半期純利益を計上した一方で、剰余金の配当を行ったことにより利益剰余金が115百万円減少したことに加え、自己株式の取得により自己株式が634百万円増加したことが主な要因です。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月4日)	上場金融商品取引所名ま たは登録認可金融商品取 引業協会名	内容
普通株式	19,473,200	19,473,200	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	19,473,200	19,473,200	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高 (千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	-	19,473,200	-	2,564,294	-	2,758,083

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 742,700	-	-
	（相互保有株式） 普通株式 35,000	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 18,685,800	186,858	-
単元未満株式	普通株式 9,700	-	単元（100株）未満の株式
発行済株式総数	19,473,200	-	-
総株主の議決権	-	186,858	-

（注） 「完全議決権株式（その他）」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が400株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数4個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名または名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
ブックオフコーポレーション株式会社	神奈川県相模原市南区古淵二丁目14番20号	742,700	-	742,700	3.81
株式会社ブックオフウイズ	香川県高松市六条町1205番地1	35,000	-	35,000	0.17
計	-	777,700	-	777,700	3.99

- （注）1．上記のほか、連結財務諸表において自己株式と認識している当社株式が15,500株あります。これは、平成22年3月3日付で実施した野村信託銀行株式会社（ブックオフコーポレーション従業員持株会専用信託口）への自己株式843,400株の譲渡について、会計処理上、当社と信託口が一体のものであると認識し、信託口が所有する当社株式を自己株式として計上していることによるものです。なお、平成25年11月25日付で信託口が所有する当社株式のすべてを売却しました。
- 2．上記のほか、平成25年11月19日開催の取締役会決議により、平成25年11月20日付で自己株式の取得を行い、これにより自己株式数は1,146,000株増加しました。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,630,796	5,666,699
受取手形及び売掛金	1,085,791	1,229,833
商品	10,821,399	11,593,784
その他	2,813,513	2,970,063
貸倒引当金	3	4
流動資産合計	19,351,497	21,460,376
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,999,209	5,332,803
リース資産（純額）	1,993,028	2,011,867
その他（純額）	739,736	699,060
有形固定資産合計	7,731,974	8,043,731
無形固定資産		
のれん	795,077	621,289
その他	942,144	952,644
無形固定資産合計	1,737,221	1,573,934
投資その他の資産		
差入保証金	8,935,519	8,812,749
その他	1,782,426	1,743,635
貸倒引当金	83,474	63,298
投資その他の資産合計	10,634,471	10,493,086
固定資産合計	20,103,667	20,110,752
資産合計	39,455,164	41,571,128

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,000,255	934,501
短期借入金	4,560,000	8,400,002
1年内返済予定の長期借入金	3,171,768	2,677,021
リース債務	486,745	513,231
未払法人税等	890,430	385,878
賞与引当金	277,042	87,690
売上割戻引当金	52,067	139,184
店舗閉鎖損失引当金	57,218	87,459
その他	3,542,353	3,598,274
流動負債合計	14,037,881	16,823,243
固定負債		
長期借入金	6,439,885	6,597,765
資産除去債務	1,387,843	1,429,095
リース債務	1,480,528	1,454,106
その他	859,304	680,095
固定負債合計	10,167,561	10,161,062
負債合計	24,205,443	26,984,306
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,564,294	2,564,294
資本剰余金	3,098,903	3,098,903
利益剰余金	10,269,308	10,154,026
自己株式	503,054	1,137,165
株主資本合計	15,429,451	14,680,058
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,139	63,787
為替換算調整勘定	200,870	157,024
その他の包括利益累計額合計	179,730	93,236
純資産合計	15,249,721	14,586,821
負債純資産合計	39,455,164	41,571,128

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	56,637,149	58,715,461
売上原価	23,512,425	24,727,410
売上総利益	33,124,724	33,988,050
販売費及び一般管理費	32,126,635	33,241,519
営業利益	998,089	746,531
営業外収益		
持分法による投資利益	5,239	7,958
自動販売機等設置料収入	143,253	146,907
古紙等リサイクル収入	177,337	248,244
その他	179,930	241,294
営業外収益合計	505,761	644,405
営業外費用		
支払利息	167,791	155,040
その他	29,467	20,334
営業外費用合計	197,259	175,375
経常利益	1,306,591	1,215,561
特別利益		
投資有価証券売却益	-	14,138
固定資産売却益	-	1,635
特別利益合計	-	15,774
特別損失		
投資有価証券売却損	38,401	28,483
投資有価証券評価損	48,833	-
店舗閉鎖損失	23,309	19,976
店舗閉鎖損失引当金繰入額	27,717	48,658
固定資産除却損	17,099	5,808
減損損失	98,623	130,681
特別損失合計	253,983	233,609
税金等調整前四半期純利益	1,052,608	997,725
法人税、住民税及び事業税	449,966	554,284
法人税等調整額	2,697	94,155
法人税等合計	447,269	648,439
少数株主損益調整前四半期純利益	605,338	349,286
四半期純利益	605,338	349,286

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	605,338	349,286
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,413	40,841
為替換算調整勘定	24,206	43,845
持分法適用会社に対する持分相当額	9,995	1,806
その他の包括利益合計	36,624	86,493
四半期包括利益	568,714	435,779
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	568,714	435,779
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、新たに設立した㈱ハグオールを連結の範囲に含めております。

（四半期連結貸借対照表関係）

当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行13行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
当座貸越極度額の総額	11,420,000千円	12,400,000千円
借入実行残高	4,330,000	8,016,668
差引額	7,090,000	4,383,332

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	1,508,229千円	1,539,405千円
のれんの償却額	242,965	219,710

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年6月23日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	458,645	25	平成24年3月31日	平成24年6月25日

(注) 配当金の総額には、ブックオフコーポレーション従業員持株会専用信託に対する配当金9,615千円を含めておりません。これはブックオフコーポレーション従業員持株会専用信託が所有する当社株式を自己株式として認識しているためであります。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成25年6月22日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	464,567	25	平成25年3月31日	平成25年6月24日

(注) 配当金の総額には、ブックオフコーポレーション従業員持株会専用信託に対する配当金3,692千円を含めておりません。これはブックオフコーポレーション従業員持株会専用信託が所有する当社株式を自己株式として認識しているためであります。

2. 株主資本の金額の著しい変動

自己株式の取得

当社は、平成25年11月19日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式の取得を決議し、自己株式の取得を行いました。この自己株式の取得により、自己株式が764,382千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において1,137,165千円となっております。

なお、当該決議に基づく自己株式の取得につきましては、平成25年11月20日をもって、終了しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	ブックオフ 事業	リユース 事業	パッケージ メディア事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	38,629,690	9,212,854	8,487,735	56,330,280	306,868	56,637,149	-	56,637,149
セグメント間の内部売上 高又は振替高	295,311	161	286	295,759	91,954	387,713	387,713	-
計	38,925,002	9,213,015	8,488,022	56,626,040	398,823	57,024,863	387,713	56,637,149
セグメント利益又は 損失()	2,142,563	318,568	93,721	2,367,410	1,920	2,369,331	1,371,241	998,089

(注)1. 「その他」は、「ブックオフ事業」、「リユース事業」、「パッケージメディア事業」に含まれない店舗の運営(屋内遊具施設を営むチェーン「KID-O-KID」店舗等)及び各事業の店舗の内外装工事の企画・設計施工等を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,367,410
「その他」区分の利益	1,920
セグメント間取引消去	23,422
全社費用(注)	1,394,663
四半期連結損益計算書の営業利益	998,089

(注)全社費用は、主に当社の管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ブックオフ事業」、「リユース事業」及び「パッケージメディア事業」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び使用範囲の変更により回収可能価額を著しく低下させる変化があった店舗について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては98,623千円であり、セグメントごとの減損損失の計上額は以下のとおりです。

「ブックオフ事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、78,177千円であります。

「リユース事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、15,022千円であります。

「パッケージメディア事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、5,422千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	ブックオフ 事業	リユース 事業	パッケージ メディア事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	39,595,491	10,751,028	8,097,374	58,443,894	271,567	58,715,461	-	58,715,461
セグメント間の内部売上 高又は振替高	308,182	1,896	427	310,507	122,535	433,042	433,042	-
計	39,903,673	10,752,925	8,097,801	58,754,401	394,102	59,148,503	433,042	58,715,461
セグメント利益又は 損失()	1,867,080	635,002	50,145	2,451,937	267,446	2,184,491	1,437,959	746,531

(注) 1. 「その他」は、「ブックオフ事業」、「リユース事業」及び「パッケージメディア事業」に含まれない中古物品の買取及び販売、店舗の運営（屋内遊具施設を営むチェーン「KID-O-KID」店舗等）及び各事業の店舗の内外装工事の企画・設計施工等を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	2,451,937
「その他」区分の利益	267,446
セグメント間取引消去	32,629
全社費用(注)	1,405,329
四半期連結損益計算書の営業利益	746,531

(注) 全社費用は、主に当社の管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「ブックオフ事業」、「リユース事業」及び「パッケージメディア事業」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び使用範囲の変更により回収可能価額を著しく低下させる変化があった店舗について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては114,880千円であり、セグメントごとの減損損失の計上額は以下のとおりです。

「ブックオフ事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、98,203千円であります。

「リユース事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、2,895千円であります。

「パッケージメディア事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、13,781千円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)
1 株当たり四半期純利益金額	32円83銭	18円89銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	605,338	349,286
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	605,338	349,286
普通株式の期中平均株式数 (千株)	18,437	18,493
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	平成17年 6 月25日定時株主総会決議によるストック・オプション 上記の新株予約権は、平成24年 6 月30日をもって権利行使期間満了により失効しております。	-

- (注) 1 . 前第 3 四半期連結累計期間の潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 2 . 当第 3 四半期連結累計期間の潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 3 . 1 株当たり四半期純利益金額の算定に用いられた普通株式の期中平均株式数は、ブックオフコーポレーション従業員持株会専用信託が所有する当社株式の数を控除して算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 1月30日

ブックオフコーポレーション株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 米 澤 英 樹 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 阪 田 大 門 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているブックオフコーポレーション株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ブックオフコーポレーション株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- （注） 1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
- 2．四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。